

挿
藥
使
記

卷

471
490



門 奴
譜 790
卷



採藥使記序

採藥者何也 在採其國之
藥物而為之 徒在州也 人
之謂醫其國而名之 採
其藥物者 必以替日者



駟馬夜臨河地况
步今下平去者其謂
宙之此來必一瞬
則不能多也其物居

是術也蓋揮葉在中
其考為其之或名
奔而翔者有故甘
去馬象為玉

欽明帝時乃為國
施德澤皇恩固德
丁巳院來而為嘆矣
世稱採華涉之姑以

相去數百年來當此
比肩而立後者年其
誰能繼往者為憲宗
及完業於而塵加其

擇藥既而石傳醫神
祖教興也文物已盛
揖藥名、行、每其人
亦不尚端隆、抄

集于及漱石物流石
至高保之初方化
得為粗、有、仁政象
河部氏松井氏石史海

旧採葉為古車載不
勝樊垂之移於官圃
六摘而苑於右庫之
中如日縣石之一丸

言念至庭其餘之
徒以為高之實洞又竊
竊其粉或分其乃
失為副墨名曰採葉

使記且此舉也為採
美者不甚親者免陷
瞎者身將一瞬子
里者乎

寶曆戊寅春三月
既望

格隆庵

石光寧識

凡例

一 此書ハ享保ノ初、比東都ニ阿部友之進照任、松井玄蕃重康ト云ヘル人アリ、各諸藥ノ良否ヲ辨ヘ、其形状ヲ多識ス。一歳台命ヲ蒙リ、諸國ニ出行シ、其所々ノ産物ヲ見出シ、普ク世上ニ知ラシメ、珍物品々ヲ官府ニ貢獻ス。兩翁共ニ宝曆中迄、壯健ニ存在シテ、何レモ八十有餘ヲメテリ。此翁ノ口述ニ、后光寧ノ副監セルナリ。

一 原本兩翁ノ雜話ニシテ、書寫混亂ス。今其物産ノ因ヲ分ルト雖モ、其物ハ雜ヘ託ス。

一 原本艸字躰之處、今見ヤスカラシカ為ニ、國字ヲ加ヘ隸書ス。

一下字ハ總テ後藤氏ノ考述スル處ヲ記ス

採藥使記卷之一

目錄

陸奥國

臙臙臙

木耳

イケマ州

独活

カト臭

井水

雁木

堅粟

玄精石

禹餘糧

蛇含石

皂莢

蓼花

石硫黃

琥珀

猪苓

林藥外膽卷之二

磁石

千金藤

木饅頭

龍化葱

昆布

狗脊

延胡索

蓋草

採藥使記卷之一

黎春光生

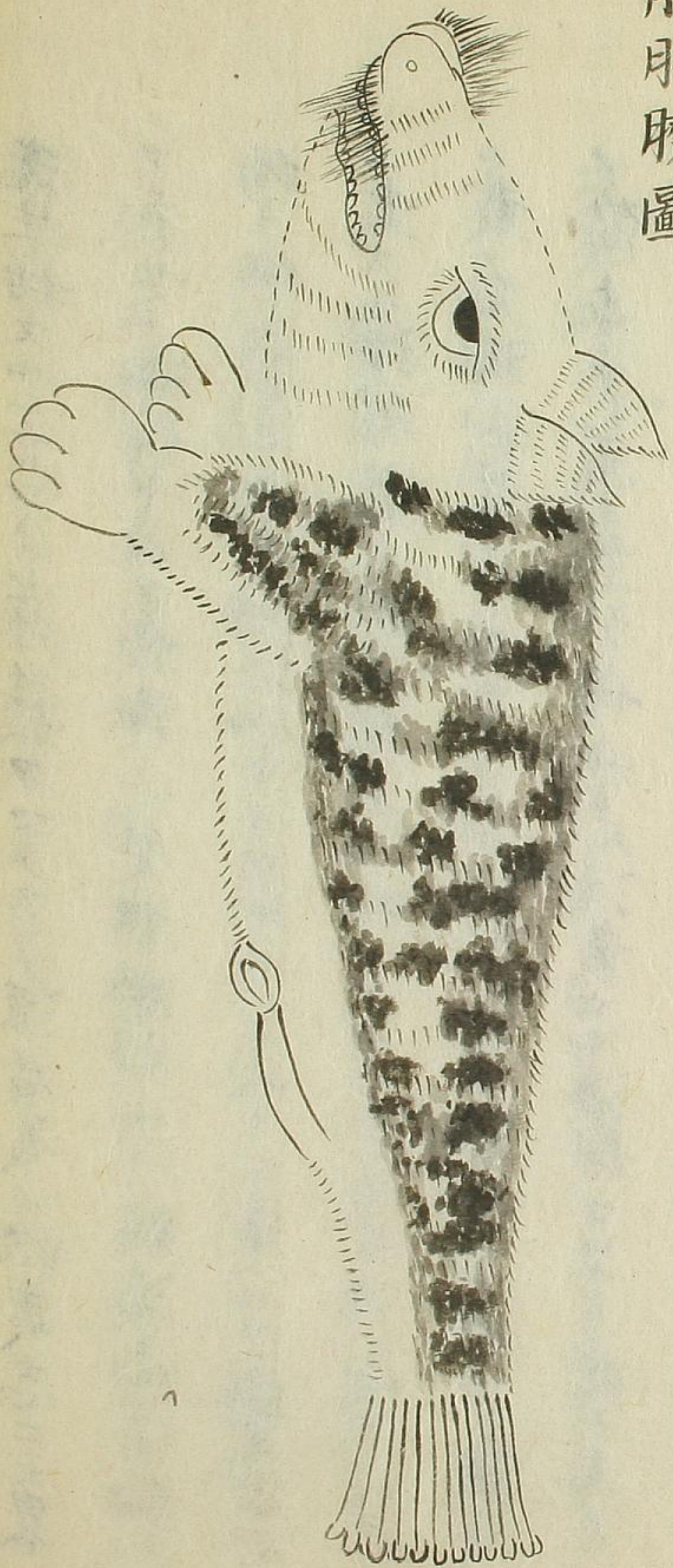
副監

高大醇錄

奥州之部

照任曰東海松前津輕南部ノ海中ニ脛肭臍ヲ産ス其形面ハ
 猫ニ似リ口ノ両方ニ鬚アリ長サ三四寸ハカリ是亦猫ノ鬚ニ似リ
 齒ハ二行ニ生シ前足蹠アリ後足ハ魚ノ尾鱗ノ如ク二所ニ節アリ
 是鬚ヲ鉄毗ト名ツケ土人常ニ食フ佗国ノ蝨鯉節ヲ用ウル
 如クシ背ノ毛ハ微黒色ニシテ虎斑アリ頭上ニ穴アリ毛ニテ陰レテ
 見エス陰莖ノ長サ二寸餘是ヲ專ラ藥ニ用ユ惣長大抵二尺
 以來アリ此外オツトセイニ似タル物數多アリ一ニ曰沖犬面ハ
 狗ニ似タリ二ニ曰ドンダリ三ニ曰レツフ四ニ曰アサラシ前足後足係
 肉ヒレノ如ク其色黒シ五ニ曰アシカ即是海獺ナリ六ニ曰撮虎
 ソノ形脛肭臍ニ似テ色赤シ

脛肭臍圖



先生按スルニオツトセイノ類アマタアリ源君義ノ蝦夷志ニモ畧
アラセリ海狗トイフ物即チ是温牝臍ナリ臨海志ニ曰頭ハ
狗ニ似テ毎日水面ニ浮フトイフアモシツヘイト云ヘルハ山東通志
ニ載スル海驢コレ也形チ驢馬ノ如シアサラシト云ヘルハ山東通志
ニ載スル海狗是ナリ其大サ狗ノ如ク皮ニ斑文アリ專ラ鞞褥
ノ飾トスアシカト云ヘルハ博物志注載スル海獺コレナリ頭ハ馬ノ
如ク腰ヨリ下ハ蝙蝠ニ似タリ子ツフト云ヘルハ藏器本州ニ載ス
ル所ノ海獺コレナリ形獺ニ似テ大サ犬ノ如ク脚下皮アリテハツ
脚ノ如シ

照任曰蝦夷松前ノ内ヨリ一種ノ木耳ヲ出ス其形桑木耳ノ
如クニシテ甚タ大ナリソノ色白ク油ギリツヤヨシ味甚苦少シ其レ
土人諸病ヲ治スト云フ專ラ腹痛疝氣痛ニ用サテ妙ナリト云フ
此モノ山中谷中ニ大樹アリテ其木年ヲ経テ倒レ朽テ其枯株
ヨリ此木耳ヲ生ス其大樹ノ名ヲ峯ハリト云フ

先生按スルニ此木耳ヲエブリコト云フ又アカストウトモ云フ
多ク鞞鞞ノ地ニ生ス其所ヲカラフトノ名ツク又北高麗ト
モ云フ蝦夷カ崑ノ北畧ナリ此物多クハ沙濱ノ中ニ生スルト
云フ其形鎖陽ノ類ノ如シ又茯苓ニ似テ濃ナラス蝦夷人
ノ傳ニ曰積聚疝氣一切ノ腹痛ニ用ウ然レモ虛弱ノ人ニハ
斟酌スヘシト云フ或曰漢名朱崖芝ニナルヘシ

照任曰、松前ニイケマト云々アリ、葉ハ蔓生ノ女羅ニ似タリ、根ハ
牛房ノ如ク、乾キタル形ハ今華昔ヨリ渡ル、續断ニ似タリ、根ノ味ハ
甚苦シ、土人諸病ニ用ユ、又此根ヲ細ホトシ、馬ノ背ニ少モ振り
カクル時ハ、馬蠅ノ類、近ツク事ナシ、甚妙ナリ、

先生按スルニ、コレ疑ラクハ、毒草ナラニ、病ニ輕平ニ用ユヘカス、
加洲ニテ、鼠コロシ、西國ニテ、猿コロシ、佐渡ニテ、ムミアライ、ウツ
ギト云フ草アリ、何レモ諸虫ノ来ルヲ避ルニ用ユ、此類ナル
ヘシ、或曰、今閩東ニ所謂ヤマガウガメ歟、

照任曰、松前千砂野ノ濱ヨリ、真ノ独活ヲ出ス、方言ニサイ
キト云フ、即チ官園ニ献ス、

先生按スルニ、中國、西國ニモ、サイキト云フ草アリ、今中華
ヨリ渡ル、羌活ニ似タリ、或曰、京師嵐山ニ産スル草アリ、土人
シ、ウド、又大ウド、云フ、氣芳烈ニシテ佳ナリ、真ノ独活
ト云ヘキモノナリ、

重康曰、蝦夷、松前ノ海ニカド、云魚アリ、一名ハニシトモイフ、其
形イワシニ似テ、大ク色青ク、味モ佳ナリ、此魚聚ル所、沫ヲフキテ、
水面ニ浮フ、雪ノ降りタルカ如シ、網ヲ以テ是ヲ捕ル、腹ニ子アリ
テ滿テリ、乾テ数ノ子ト云フ、和俗專ラ、歲始、其外喜儀ニ用
ルコレナリ、

先生按スルニ、此魚、和俗、鯧ノ字ヲ用、東海ニ出ルヲ以テ

成へし又朝鮮ニモ是アルニヤ彼國青魚ト云フ由呂覽ニ
所謂ル東海ノ鮠ウツコ蓋シコレヲ謂フカ

重康曰蝦夷ソウヤノ辺ハ水性惡クテ濁レリ故ニ井ヲ掘リテ
蛤蚌ノ類ヲ井ノ底ニ入レ置ク時ハ水清ク諸事ニ遣フト云フ

先生按スルニ夷方ニカキラス何國ニテモ水ヲ清カラシムルニ
ハ此法ヨシ利馬竇カ泰西水法ニ曰井ノ底ヲ作ルニ木
ヲ下トスカハナ磚カハナコレニ次ク鉛ニテ敷ヲ上トス又金魚カハナ魚ヲ
アタメ入レ置モヨシ魚類ハ水中ノ土垢ヲ食ヒ清カラシメ水ノ
味モ又羨ナリト載タリ

重康曰奥州ソトガ濱アタリニハ毎年秋雁ノ来ル比此所ニ
テ羽ヲヤスメ嘴クビニ一尺半ノ木ノ枝ヲ含ミ来ルヲ捨テ置キ又南
方へ飛去ル来春歸ル比捨置タル木ヲ又一本ツクフクニ北海へ
歸ル然レハ歸ル雁ハ稀ニテ右ノ木枝殘レル數オホシ彼所ノ
ナラハシニテ件ノ木ノ枝ヲトリ聚メ風呂ヲタキ諸人ニ浴ミサセ
シム佗國ニテ多ク人ノ為ニ捕レタル雁ノ供養ナル由每春ノ例
トセリ是ヲ俗ニ外カ濱ノ雁風呂湯ト云フ

先生按スルニ求林祚ノ怪異并斷ニ曰日本渡海ノ唐人
語テ曰唐土ノ北方サシ山西國ノ北シ毎冬鴻雁ノ来ル時枯木
ノ細枝ヲ嘴クビニツクテ落ス牙アリ土人ソノ枝ヲ集メテ薪ニ
賣ル者アリ其值毎年白銀五万兩ニ及ヘリト云フ

重康曰、奥州南部ニカタクリト云々、其形千百合ニ似タリ、花モユリニ似テ紫色、正二月比花咲ク、其根ヲトリ、葛ノ如ク水飛シテ、水ニテ煉、餅トナシ、食フ、葛ヨリハ色白ク、甚タニゴトナル物トナリ、土人等、専ラ久痢ニ用ヒテ、益アリト云ナリ、

先生按スルニカタクリ、江東所々ニ生ス、一名初ユリ、一名姥ユリ、一名フコダイユリトモ云フ、正月比花咲ク、故ニ初ユリト称ス、花萎ミテ、後ニ葉ヲ生ス、花ノ時、葉ナキ、ユヘニ姥ユリト云、葉ノ形、車前ノ葉ニ似タリ、葉ノ面ニ黒キ斑アリ、是乃葉集及新撰六帖ニ詠スル所ノ堅香子ト云モノ也、或曰、本州紫参ノ下ニ載スル、カレダク早藕ナルヘシ、

カタクリノ圖



照任曰、奥州津輕ノ領内、松前へ行ク道ノ山陰ニ、土人蛇ノ苔ト云石アリ、是則玄精石ナリ、取りテ官府へ納ム、
重康曰、奥州津輕ノ内所々、禹餘糧ヲ出ス、

先生按スルニ、禹餘糧、江東ニモ、所々ノ山ノ手方ニハコレ有リ、和列生駒山辺ニハ多ク出ス、土人岩ツボト云、金剛山ニテハ是ヲ福石ト云フ、佐列ニテハ俗ニハツタイ石ト云フ、

照任曰、奥州津輕ヨリ、蛇含石ヲ見出ス、又ホロツケト云フ、則ニモアリ、

先生按スルニ、真ノ蛇含石ナルヤイフカシ、無名異ナルヘシ、倪朱謨ノ本草彙言ニ、無名異、蛇含石ノ品ヲ辨明セリ、

参考スヘシ

照任曰、奥州津輕城下へ入ルニ、三里前ニ、皂莢ノ林アリ、楮牙皂莢ナリ、其實ノ形、今華土ヨリ渡ル物ト同クシテ、稍大ヒナリ、

先生按スルニ、皂莢ハ楮牙ヲ上品トス、和邦所々ニアルハ多ハ肥皂莢ナリ、

照任曰、奥州南部、遠野ト云フ所ニ、蒿^{チサ}莖葉ノ蓂花ヲ産ス、其花蒿ノ花ノ如ク、紫色ナリ、即チ官園ニ納ム、

先生按スルニ、蒿莖葉ノ蓂花ト云フハ、握々袴ト云草ノ一種ナリ、根ノ形、左右へ子チレタル物ナリ、張璐カ通醫ニ曰^甲

右ニ子チレタルヲ北トシテ、是ヲ用ユル時ハ脚氣ヲ痊ス、慎
テ用ユルナカレ^甲左ニ子チレタルヲ蒸トシテ、濕病ヲ治ト云リ、
照任曰、奥州南部、御駒嶽ノ麓ニ石硫黄ヲ産ス、黄色或
ハ黄白色アルハ青白色ナリ、又岩鷲山ノ内ニモ所々ニコレヲ出也、
先生按スルニ、硫黄ハ鴉ノ目、鷹ノ目、火口ノ三種アリ、此内、
鴉ノ目ヲ上品トス、黄赤色ナリ、

照任曰、奥州南部、久慈村ヨリ琥珀ヲ出ス、其色黒シ、所ノ者
ハ是ヲ薰陸ト云、或ハ黄白色ノ物モアリ、山ヲ穿テ掘出ス也、
兩傍大石アリテ、其間ニ脉理ノ如ク長ク續クト云フ、其山ハ樹
十ク燒山ノ如シ、

一本
本中ニ載スル
所ノ醫者ナル
シトアリ
未詳可再考

先生按スルニ、其色黒シト云ヘルハ、本州ニ載スル所ノナルヘシ、
和俗ニ黒水晶ト云フ、

照任曰、奥州南部、大菅生ノ土中ヨリ、猪苓ヲ産ス、方言ニ
ハキホト、云フ、土ノ上ニ見ルコトナリ、山中堤ノ所ヲ掘テ取ル、
先生按スルニ、和邦ニ猪苓ト称スル物ハ、ホコリ茸ノ類ナリ、
其形尖リ長クシテ、華産ノ圓ナルニ似ス、

照任曰、奥州南部、白根村ノ銅山ヨリ、膽礬ヲ産ス、其色
青綠色、又白緑ノ色モアリ、山穴ノ上ヨリ下ル甚タ毒アリ、
即採リテ、官府ニ納ム、

先生按スルニ、此種佐州ニテ、柴明礬ト云フ物ナルヘシ、

照任曰、奥州南部、森ノ下ト云所ノ山中ヨリ、磁石ヲ出ス。玄石モ雜リテ出ル、分別ハ色ニカハリアリ、即チ官府ニ納ム。

先生按スルニ、南部ニカギラス、備前國、津高郡、野々口村ノ金堀谷ト云フ所ヨリモ、磁石ヲ出ス。大サハ蠶豆ホトニテ、鉄ヲ吸フ事、甚メ弱シ、和邦ニモ、所々稀ニ出ストイヘトモ、何レモ鉄ヲ吸フコトハシ、能ク針ナトヲ吸ユヘハ、閩通志、建寧府ノ下ニモ、磁石ノ異名ヲ、攝針石ト名ツク。

照任曰、奥州南部ヨリ、千金藤ヲ見出ス。又甲州ニモ稀ニ有、先生按スルニ、或曰、本州ニ藏器曰、一種、葉荷葉ニ似テ、大サ錢ノ如シト云フ物モ、亦呼テ千金藤ト名ツク。此種和邦畿内、所々ニアル處ノイチヤク草ナルヘシ、又藏器曰、江西ノ林間ニ草アリ、葉ヲ生シテ、頭ニ癭子アリテ、鶴膝ニ似テ、葉ハ柝ノ如クナル物モ、亦千金藤ト名ツクト云ヘリ、此種ハ、和邦ニモ未メ見エス。

照任曰、奥州南部ノ田奈部ト云所ヨリ、木饅頭ヲ出ス。先生按スルニ、是本州ニ載ル、木蓮ノ實也。郁子トモ云ヘトモ云、其實秋熟シテ、味耳シ、小兒好シ食フ。江州高嶋郡、奥ノ嶋權兵衛ト云フ者、毎年十一月一日、禁中へ献上ス。麦藁ニテ昔フキタル、小キ殿ヲ作り、其内ニ件ノムヘヲ釣リ下ケテ供ス。文武天皇ノ頃ヨリ、今ニ絶エス。

ト云フ、土人此葉ヲ採リ煎シテ、瘰癧種ヲ洗フ、能ク崩
レヌシテ、平療スト云ヘリ。

照任曰、奥州南部、田奈富ノ内、ヲコナイ村ノ濱ヨリ、龍爪
葱ヲ産ス、土人是ヲアサツキト云フ、其形常ノ葱ノ如ク、
葉ニ細キ豎筋アリ、馬蘭葉ノ文理ニ似タリ、花ハ淡紫
色ナリ。

先生按スルニ、北アサツキト云物、江都ニテ、アサツキト云モノト別
種ナルヘシ、又龍爪葱ニ充ルモ詳ナラス、本州頌カ説ニ龍爪
葱ハ、莖毎ノ上ニ岐ヲ出シテ八角ノ如シト云ヘリ。

照任曰、奥州、田奈富、松津川ニ、昆布ヲ産ス、大キナルモノニ
五丈幅ニ四尺アリ、土人屋上ニ蓄テ、暑雨ヲ除ク。

先生按スルニ、昆布ハ、東海ニ生スルヲ上品トス、殊ニ蝦夷松
前ニ生スルハ、丈甚タ長ク、色淡黄ニシテ、ヘリ青黒白ニシ
テ、薄ク柔ニシテ、味ヒ羨ナリ、津輕ノ産ハ、厚シテ味佳
ナラス、唯焙リ食ヒ、或ハ油熬トスルニ佳ナリ、南部ノ産
ハ、色稍黒シテ、味ヒ亦劣レリ、何レモ若州ニ傳送ス、小濱
ノ市人ヨリ、調製シテ、四方ニ送ル、今ハ京師ニテモ、其
製法ヲ能クスルナリ。

照任曰、奥州東柳川村ニ、狗脊ヲ産ス、方言イノチコ、ニト
云フ、即チ官園ニ移ス。

先生按スルニ、稻若水曰、狗脊ヲセシマイト訓スルハ非ナリ、
セシマイハ薇ナリ、狗脊ハ鬼セシマイ、犬セシマイノ類ナリ、今華
土ヨリ渡ル、金毛狗脊ト云物真ナリ、和邦ニモアリ、右モ
上品ナリ、薬用ニ佳ナリ、黒狗脊ト云フハ、即チ貫衆也、
照任曰、奥州ニ春ニ延胡索ヲ出ス、其根或ハ白、或ハ黄ナリ、
則献トス、

先生按スルニ、是真ノ延胡索ナルヤ、本竹ニ葉ノ形、根ノ形
ノミシテ詳ナラス、今江都ニテ延胡索トイヘル草ヲ
見ルニ、葉ハ華蔓草ニ似テ、花モチマシニ似テ、紫色、三
月花ナク、是モ亦イブカシ、本竹ニハ竹葉ノ如シトアリ、

照任曰、奥州仙臺ノ寺田ト云所ニ、艾葉ノ蓋草カサヲ多ク生ス、色
ヨク滌ルト云ヘ氏、艾葉ノカリヤスヨリ、色ウスシ、水辺ニ生スル
草ナリ、

先生按スルニ、艾葉ノカリヤス、疑クハ蓋草ト別種ナラシ
尤トモ漢書ノ盤綬ノ注ニ、艾ニ似タリトアリ、黄ヲ滌ルユ
ハニ、蓋ニ合セタルモノカ、ハ丈、鳥ノ織物ヲ滌ル草アリ、カリヤ
ストハ土人呼ヘトモ、佗国ノ草トハ、チカイ有ト云ヘリ、

採藥使記卷之二

目録

陸奥國

藁木

蒼莖石

砒石

鐘乳石

櫻桃

榉木

辰砂

浮石

石灰木

鯨魚

菰

鹽

附子

浮木魚

八丈魚

出羽國

胡桃

丹參

紫雲母

常陸國

金銀方石

榲桲

椿木

總列、上下州未詳

曼陀羅花

安房國

土茯苓

懸釣子

鹽玉木

下野國

殺生石

黃連

武藏國

黃芩

胡椒

金花斑

立金花

旱蓮草

五色梅

相模國

自然銅

清風藤

胎石

白蘚皮

箱根竹

五味子

伊豆國

樗木

アシタ中、八丈嶋

駿河國

黃芪

一葦

烏臼木

松露

採藥使記卷之二

梨春先生

副鑿

高大醇撰

奥州之部

照任曰、奥及万九郎坂ト云フ所ヨリ、藁本ヲ出ス、即チ獻上ス、

先生拙スルニ、奥州ノ藁本ヲ見ス、近世大葉ノ川芎、又ハ

馬芥ヤシヲ、藁本也トテ欺クモノアリ、能ク撰ムヘシ

照任曰、奥州遠野ト云所ヨリ、花莖石ヲ出ス、白色ナル物

多シ、又五色ナルモ稀ニアリ、則チ官府ニ納ム

先生拙スルニ、近年佐州ヨリモ、花莖石、桃花石出ルト云フ

照任曰、奥州南部、オソレ山ヨリ、砒石ヲ出ス、其色、淡紅色也

土人ノ曰此石生ル所鳥類虫類上ヲ過ルニ乍チ落テ死スルト云フ
先生按スルニ是レ真ノ砒石ナルヤイフカシ中華ニモ所々ニ多
ク生ル物ニテハナシ和邦ニモ所々ニ砒石アリト雖モ多クハ石ノ毒
ニアラス其土地ノ毒氣常ニ強ク蒸^{ハヒ}上^{アチ}ヌルニ生類ノ傷メル事
アリト云フ是モ此類ナルヘシ

照任曰奥州岩泉ノ山穴ヨリ鐘乳石ヲ出ス他國ヨリ出ルヨリ
形状甚々佳ナリ

先生按スルニ鐘乳石和邦所々ニアリ和州大峯ノ洞穴ニ
産スル物佳ナリ紀州熊野ノ山中ニモアリ豫州ヨリモ
依^ルヨリモ出ル色赤ノシテ飴色ナルヲ好トス白色或ハ
灰白色ナルハ下品ナリ

照任曰奥州南部ノ内川目村ヨリ櫻桃ヲ出ス即チ猷トス

先生按スルニ櫻桃ハ國々ニアリテ珍シキ品ニアラストイヘシ
當國ノ産ハ各別ニ勝レタルカ知ラス

照任曰奥州藪川ト云フ所ヨリ樺木ヲ出ス土人是ヲシラカ
バト云フ又御姫カ嶽ト云フ所ヨリモ多ク出ス

先生按スルニ今和邦ニカバト云フハ櫻ノ一種ニテ所々ニアリ
シカレドモ本州ノ樺木ノ説ニ合ズ甲州又信州飯田ナトニ
多ク生ス土人カバノ木ト云フ此木ノ皮ヲ煎シテ方ノ腫物
ニ用ユル甚々妙ナリトテ甲州ノ人專ラニ云傳フ徳本

ノ家方ナル由

照任曰、奥州仙臺、ホウノキクボト云所ヨリ、辰砂ヲ出ス、又仙臺ノ内、勝田ト云フ所ヨリモ出ル、又南部ノコツナギト云フ所ヨリモ、少々出ル、金山ノ内ノ、洞穴ヨリ採リ出ス、

先生按スルニ、華音ヨリ来ル、辰州ノ物ヲ、辰砂ト称スヘシ、外ヨリ出ルハ、本名ヲ呼ビテ、丹砂ト称スヘシ、

照任曰、奥州鹿角郡、華輪ト云フ城アリ、其山皆浮石ナリト云フ、或曰、信州、輕井澤ニ、浮石多ク出ル故ニ、カルイ沢ト云フ、

先生按スルニ、山中ニ海産ノ物生ル事、所々ニ有リ、江都ノ道灌山ニ、蛎殻ヲ出ス、勢州ノ山田ノ西ニ、波多瀬ト云フ山アリ、其山ニ蛤ヲ出ス、

照任曰、奥州ノ立石山ト云フ所ヨリ、石灰木ヲ出ス、

先生按スルニ、本州ニ石類ト、木類ト、二種ヲ載ス、其説ニ合フヤ知ラス、所々山中ニ古木土ニ入テ、年ヲ経テ、石ニ成ル物アリ、龍角ニ充テ、或ハ石灰木ナト、云フ人アリ、此類ナルヘシ、一年淡鳥ノ山中ヨリ、大木ノ石ニ成タルヲ、松岡成章見シト云、モ、此類ナルヘシ、其比ソレヲ石灰木ト色付シカ、石灰木ノ附録ニ載ル、松石ナルヘシ、

照任曰、奥州赤前村ノ濱ヨリ、或年、鯨魚百三十九尾、一同ニ濱ノ上ニ来ル事アリ、三日ヲ経テ、盡ク死ス、珍シキ事ニハ、

シルセルナリ。又此所ノ獵師ノ曰、北濱ニテ、鯨ニ常ニ附添フ、
三種アリ、一種ハ、シヤチト云、一種ハ、コフクト云フ、一種ハ、タチト云フ、
海俗ノ曰、鯨海中ニテ、ミタリニ他ノ魚ヲ食フ時ハ、右ノ三種ノ
魚、タチニテ鯨ノ腹ヲ突傷ルト云、

先生按スルニ、鯨魚時ニヨリ、多クアツマルフアリト云フ、日本

紀敏達天皇記ニ曰、海裏ニ鯨多ク渡ル事アリテ、船

ト、楫擢トテ、嚙フトアリ、鯨ニ附、魚ヲ西國ニテハ、ウニニ

ト云

照任曰、奥州マクナイト云所ヨリ、菰ヲ産ス、即チ米ヲ生ス、
其形チ燕麥ノ如シ、又紀州熊野本宮ニモ、菰禾アリ、他所
ノ菰ニ米穂ヲ生スル事ナシ、

先生按スルニ、鄭樵カ通志ニ曰、彫蓬ハ即チ米芟、飯ト

作シテ食フヘシ、黍蓬ハ即チ芟ノ實ヲ結ハサル物、

惟薦ニ作ルヘシト云ヘリ、和邇ニ多ク有ハ、北黍蓬ナルヘシ、

照任曰、奥州會津、大塩村ノ山中ヨリ、塩ヲ出ス、山上ニ廿町
ハカリ、登リテ、塩池アリ、長サ三四町、横ニ町余リアリ、朝
暮潮ノサシ引アリ、海ノ潮時ト同シ、出ル所ノ塩色甚々

ニ是ヲ食フ、又眼疾ノ者、此塩ニテ、目

ノ此山、海ニ遠キ、丁四十里ニ及ヘリ、此所

西行の言を
あまのくさみちをすてらるのくさ
山々のくさみちの里

ニ温泉アリ、是モ塩湯ニテ、婦人諸病ニ浴シテ、甚功アリト云、

先生按スルニ、中華ニモ是アリ、王思義カニ、文圖會ニ曰、

シルセルナリ。又此所ノ獵師ノ曰。北濱ニテ。鯨ニ常ニ附添フ。鯨ニ三種アリ。一種ハ、シヤチト云。一種ハ、ヒフクト云フ。一種ハ、タチト云フ。海俗ノ曰。鯨海中ニテ。ヒタリニ他ノ魚ヲ食フ時ハ、右ノ三種ノ魚、タチニチ鯨ノ腹ヲ突傷ルト云。

先生按スルニ、鯨魚時ニヨリ、多クアツマルフアリト云フ。日本

紀敏達天皇記ニ曰。海裏ニ鯨多ク渡ル事アリテ、船

ト楫擢トテ、嚙フトアリ。鯨ニ附、魚ヲ西國ニテハウニニ

照任曰。奥州マクナイト云所ヨリ、菰ヲ産ス。即チ米ヲ生ス。其形チ燕麥ノ如シ。又紀州熊野本宮ニモ、菰禾アリ。他所ノ菰ニ米穂ヲ生スル事ナシ。

先生按スルニ、鄭樵カ通志ニ曰。彫蓬ハ即チ米芟飯ト

作シテ食フヘシ。黍蓬ハ即チ芟ノ實ヲ結ハサル物。

惟薦ニ作ルヘシト云ヘリ。和邦ニ多ク有ハ、北黍蓬ナルヘシ。

照任曰。奥州會津大鹽村ノ山中ヨリ、鹽ヲ出ス。山上ニ廿町ハカリ、登リテ、鹽池アリ。長サ三四町、横ニ町余リアリ。朝暮潮ノサシ引アリ。海ノ潮時ト同シ。出ル所ノ鹽色甚ク白ク、味ヨシ。國民常ニ是ヲ食フ。又眼疾ノ者、此鹽ニテ、目ヲ洗フニ驗アリト云フ。此山、海ニ遠キ、丁四十里ニ及ヘリ。此所ニ溫泉アリ。是モ鹽湯ニテ、婦人諸病ニ浴シテ、甚ク功アリト云。

先生按スルニ、中華ニモ是アリ。王思義カニ文圖會ニ曰。

四川ノ成都保寧叙別等ニハ井水ヲ煎シテ塩ヲ造是
ヲ井鹽ト名ツクト云ヘリ。

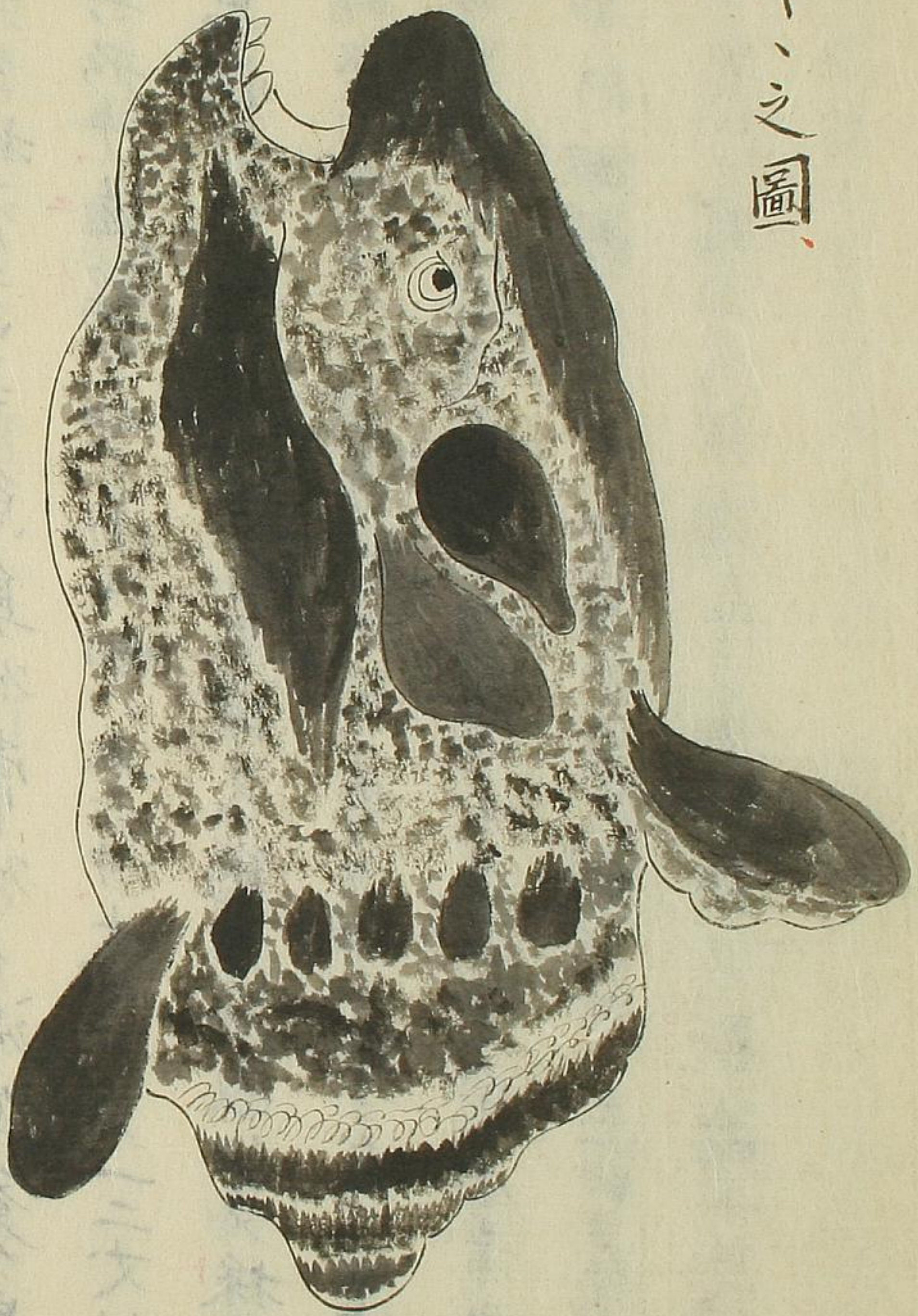
照任曰奥州ノ鍵トリト云所ヨリ白蒼ノ附子ヲ出ス又碧色ノ
蒼モアリ其根大キナルモノ三四寸經一二寸計アリ即チ献上ス

先生按スルニ揚天惠カ附子記曰蒼白キモノヲ上トス鐵色
ナルモノ是レ次ク青緑ナルモノ下トスト云ヘリ今東都所
所ニ唐ノ附子ト稱スルハ白花ナリ紫碧色ノ野生ノ附
子ノ如ク肥大ナラス

重康曰奥州オナノ濱ト云フ所ヨリウキト云フ魚アリ其
魚ノ餌袋ヲトリ乾シテ久煎ニ煎シ用ヒテ切アリト云袋
計取テ外ハ皆々五壳ノ養異培ニ用ユルト云フ

先生按スルニウキ魚奥州常州ノ海濱多ク是ヲ取
其形子海鱈ノ如ク小キ物ハ五六寸大キナルハ一二丈計コノ
魚性愚ニシテ死ヲシラス漢人熊手ヲ以留メ採ルニ動
躍スル事ナシ浮木ノ水面ニ有カ如シ故ニ名ツク古今
類聚常陸國志ニ曰查魚大者一丈計小者五六尺
扁形細鱗背上ニ堅皮アリテ鯢ノ如シ三四月ノ間出
ト云ヘリ或曰大穰海志ニ載スル所ノ鯢鱈ナルベシ

ウキ、之圖



皇康曰、奥州又羽州オカノ嶋辺ニハタミト云フ魚アリ一名
雷魚一名佐竹魚トモ云フ其形千鱗ニ似テ七八寸計鮓ニ
テ食フ味ヒ好ト云フ

先生拙スルニ此魚ノ鱗ヲフリタタト云フテ賞味トス土
人ノ曰此魚ムカシヨリ佐竹氏ノ領スル所へ何國へモウツ
リ生ル故ニ名佐竹魚トモ云フ此魚九十月雷ノ鳴ル時
必多ク是ヲ捕ル中華ニモ雷ノ鳴時出ル魚アリ興
州ニ雷穴ト云フ所アリ雷ノ鳴ル度ニ其穴ヨリ臭
多ク流レ出ルヨシ圓機活法ニモ引リ

羽州之部

重康曰羽州秋田ノ野代ト云フ所ニ胡桃ノ樹アリ其實ノ形チ圓ク大クシテ外ノ壳薄ク手ヲ以テ碎ク時ハ肉出ル所ノ者コレヲ手打胡桃ト云フ

先生按スルニ中華ニモ陳倉ト云所ニモ又陰平ト云フ所ニモ此種アリ

照任曰羽州矢立峠ト云フ山ヨリ丹參ヲ出ス方言ニマコナカセト云フ即獻上ス

先生按スルニ和邦古郡リケルヤ延喜式貢藥ノ内ニモ見エタリノ中世絶エタリシガ寛永年中板倉ト齊

朝鮮ヨリ丹參ノ實ヲトリヨセケル由羅山文集ニ見エタリ

照任曰羽州秋田ノ阿仁扇子平ト云フ山ヨリ紫雲母ヲ出ス

野州日光山近辺ヨリハ白雲母ヲ出ス共ニ獻上ス

先生按スルニ雲母五色アリト云ハ凡白雲母ナル物ヲ上品トス

○常州之部

照任曰常州山中所ニヨリ金銀方石ヲ出ス柵倉領ノ内竹ノ下ト云フ所ヨリ出ル即獻上ス

先生按スルニ銅方石ハ和邦所々ヨリ出ル金銀方石稀也照任曰常州佐野天ミアウヨリ榎榎ノ木ヲ出ス即獻上ス

先生按スルニ榎榎ハ蠻名マロメト云テ榎榎ノ一種ナリ重康曰常州ノ板子ト云フ所ヨリ椿木ヲ出ス土人呼テ

ナレシヤノ木ト云フ

先生按スルニ椿木ト標ト。形状似テマキレヤスニ椿ハ長崎ニテ華人香椿ト呼テ料理メ吻ヘカラス。農政全書ニ白花アリテ莢アルモノヲ標トシ花ナクテ實ナキモノヲ椿トス。

○總州之部

重康曰此比總州ニテアル寺ニ宿セシニ十五六歳ノ沙弥戲シテ曼陀羅花ノ實ヲ食ヒケルカ卒ニ發熱シ譫語シテ狂人ノ如クニテ有リシニ色々藥ナト用ヒケレバ暫ク癒ス一夜煩ヒ翌朝瀉下シテヨリ平愈セリ。誠ニ本州ニ毒州ノ部ニ入タルモムヘナリ。此所ニテアサカホト云フ。江戸ニテ朝鮮アサカホ又チヤノラ

州トモ云フ

先生按スルニ張應愈カ杜騙新書ノ中ニムカシ天生ト云フ者主從二人旅行シケルニ道ニテ盜賊陀々花ヲ酒ニ浸シテ兩人ニ吞セケレハ即チ昏迷シテ物言フ事能ス其内ニ路銀衣類ヲ取り走リケル是陀々花ノ毒ニ中リ花ナリ。陀陀花ハ三年ノ茹花ナリト載セタリ。是本州ノ毒草ニ入ル處ノ曼陀羅花ナルヘシ。今和邦ニウエルニ春種ヲ蒔クニハ八出茄子苗ノ如ク葉モ又茄子ニ似タリ。故ニ俗ニ山茄子ト云

○房州之部

重康曰房州勝山ヨリサ伏苓ヲ出ス。即チ官園ニ移ス。

先生按スルニ是レ疑ラクハ、菰葉ノ類ナルヘシ。

重康曰、房州小湊、誕生寺ノ山中ヨリ、無刺ノ懸釣子ヲ出ス。此種又豆列ノ八幡原ヨリモ出ス。

先生按スルニ此種江戸ニモ稀ニアリ。

重康曰、房州ニ塩玉ト云フ木アリ、タブノ木ノ類、土人此實ヲ採リテ蠟燭トス。

先生按スルニ塩玉樟タフ、裏白肉桂、此四種ノ葉何レモ三條アリテ似タル物ナリ。

野州之部

照任曰、野州奈須野ノ殺生石、其大サ牛ノ如シ、二種アリ、一種ハ其色薄青シ、一種ハ白クシテ薄赤キ處アリ、甚タ毒アリ、其蛇ノ類コレニ觸ルレハ乍チ死ス、其虫蛇ノ類年ヲ経テモ形ヲ損セスト云フ、是レ礬石ノ類ニテ、真ノ信石ニアラス。

先生按スルニ陸奥下野ノ間ニ塚アリ、是ヨリ南ヲ那須野ト云フ、向ニ三ツノ高山アリ、茶磨嶽、阿弥陀嶽、昆沙門嶽ト云フ、此所多ク硫黄ヲ生ス、其土青黃色ニシテ穴多アリテ、常ニ火煙ヲ出ス、故ニ盤石皆薰フル、汝レ山ニ登レハ殺生石アリ、今モ虫ヲ捉ヘテ石面ニ置ハ、乍チ死ストイフ。

照任曰、下州日光山シラ根カ嶽ノ道ニ光善院モトシト云フ。

所ニ菊葉ノ黃連ヲ出ス。高サ七八寸。其葉大ナル事。菊ノ如シ。根モ又性甚好シ。

先生按スルニ。和邦ニ産スル黃連。三種アリ。菊葉。芥葉。五加葉アリ。加州。佐州ニ産スルハ菊葉ニテ。大ク上品ナリ。京師鞍馬。貴布祢ノ辺ニ産スルハ芥葉ナリ。叡山ニ産スルハ五加葉ナリ。近年ハ東奥ヨリモ多ク出ス。故ニ中華ヘモ渡ルカ。張璐カ醫通ニ曰。黃連。川中ニ産スルモノ中空ニシテ。色正黃ニテ。截開ク時ハ。辨テ分ツ者ヲ上品トス。又雲南。水連ニ産スルヲ次トス。日本ト。吳楚ニ産スルヲ下品トスト云ヘリ。

武州之部

照任曰。武州大澤ノ麓ヨリ。黃芩ヲ出ス。又小杉ヨリモ出ル。和黃芩ノ始ナリ。即チ官園ニ植ル。

先生按スルニ。黃芩。日本古アリシニヤ。延喜式ニノセテ。今江東ニテ。専ラ作ル黃芩ハ長サ一尺ハカリ。葉兩ノ對生ニ。葉ニ毛アリ。七月比。紫碧花ヲ開ク。秋ニ至實ヲ結ヒ。蟻蝨ノ形ノ如ク。根ハ宿根ヨリ。春生ス。實ヲモ蔕ノ中華ヨリ来ルニ。性劣ラスト云ヘリ。

照任曰。武州所々ニ胡椒ノ木ト云フ者アリ。其葉ハ柳ノ如クニテ。青白色。コレヲ断レハ白汁出ル。其實胡椒ノ如ク。色赤ク

味辛シコレヲ食スレハ舌ノ上ヲ麻スルヲ甚シク毒アリ食フヘ
カラス此種ハ即チ堯州ノ黃芫花ナリト云フ

先生按スルニ今江東ニテ胡椒ト云フモノ二種アリ一種ハ木
ニテ沉丁花ノ類ナリ花モ沉丁花ニ似テ白ク胡椒ノ如
キ實ナル也赤シ漢名白瑞香ト云相州府志ニ見タ
リ一種ハ蔓草ニテ形チ木ノ胡椒ト云者ニ似タリ此
比番國ヨリ渡ル所ノ胡椒ヲ種ヘ生ル事アリ其木ノ
高サ二三尺葉ハ番椒ノ葉ニ似テ厚ク勤ヘス又小梔子
ノ葉ニモ似タリ四五月白花ヲ開キ實ヲ結ブ味辛ク異
國ノ産ニ異ナル事ナシ然レトモ盛長シガタシ

重康曰此頃江戸藩井ニテ京師ヨリ來ルトテ二種草ヲ見タ
リ一種ハ草立二三尺ハカリ葉形雞冠花ニ似タリ花ハ沉丁花ナ
トノ形ニ似テ黃色ナリ七月花サク名ヲ金花粧ト名ツクト云ヘ
リ一種ハ高サ一尺ハカリ葉ハ圓川骨ニ似テ花ハ五出ニテ形チ桔
梗ノ如ク黃色ナリ其モ黃色ニテ多ク出ル四五月開ク名ヲ立
金花ト云フヨシ何レモ漢名イマメ知ラス

先生按スルニ金花粧ト云ヘルハ以前ヨリ州花ニ用ル所ノ白粉
中ノ黃ニ変シタルナルヘシ白粉州ノ花ハ赤シ是ハ佩文齊ノ
廣郡芳譜ニ載スル處ノ紫葉茉莉ナリ立金花ト云ヘルハ
李笠翁カ苾子圖函譜ニ圖スル處ノ金絲荷葉ナリ

重康曰江都王子邊ニ早蓮草ヲ多ク出ス土人は是ヲトリテ
黒燒トシ髮ノ元ケタルニ胡麻ノ油ニテ解キ付ルヨク髮生スト云フ
先生按スルニ此草江東所々ニアリ俗名タラビ共タカサフ
ラウ氏著婆三礼草トモ漢名又鱧腸草トモ云フ葉
柎ノ如ク又川子シヤノ葉ニ似テ復白花ヲ開ク菊ノ花ノ
形ニ似テ小ク實ハ蓮房ノ形子ニ似タリ莖ヲ折トキ黒
汁出ル何鎮カ類纂纂必讀ニ曰保壽堂方ニ云フ金陵
草ハ即チ早蓮草ナリ

重康曰武州那珂郡小平村ト云フ処ニ春負寺ト云フ淨土宗
ノ寺アリ其庭ニ五色楸ト云フ樹アリ幹凡五尺周リアリ花ハ八
重ニシテ紅白黃ノ色アリ又外ニ青色ノ花咲ク是ハ常ノ花ト
違ヒ葩厚クヘリ紫色ニテ幹ニ輪ツ花ヲ開ク花ノ中ニ蔓
ノ如キ莖一ツイヅル此花ハ紅白黃ノ花ヨリハ甚タ少ク出ル惣
躰香甚タスクレテヨシ即獻上ス

○相州之部

先生按スルニ是開元遺事ニ載スル所ノ花奴ノ類ナルヘシ

照任曰相州鎌倉ヨリ自然銅ヲ出ス

先生按スルニ信州紀州等ヨリモ出ル土人切目石ト名ツク自
然銅無名異蛇含石ニ物一類ナリ其内自然銅ハ色赤
ク形方ニ碎クル也圓ニ碎クルハ無名異也方圓定マラカルモノハ

蛇會石ナリ

照任曰相州榛島ヨリ清風藤ヲ出ス其葉山茶ノ葉ニ似タリ

先生按スルニ本州ニ清風藤ノ葉ノ形状ヲ載セス輕平ニ藥用トスヘカラス

照任曰相州三浦ノ庄ニハラ石村ト云所アリ其村ノ中ニ石アリ年毎ニ一ツ宛丸キ石ヲ産ス其色黒ク甚タ堅シ里人呼テ是ヲ胎石トス

先生按スルニハラ石國々ニ間々コレアリ殊ニ奥州銀山ノ隣郷ニ中島村ト云所ニハ土人文録年中紀州熊野ニテ拾ヒ憐ニ入テ下向セシニ百年ヲ經テ大サ一拱半ニ及ブ子石孫石數々産シテ今ハ二千餘アリト云

照任曰相州子安ト云所ヨリ白鮮皮ヲ出ス

先生按スルニ中華ヨリ來ルヲ用ユヘシ今コマツナキト云フ草ヲ用ヒ或ハ花シノフト云州ヲ白鮮皮ニ當ル何レモ根ニ腥氣アリテ分明ナラス

重康曰相州箱根アシガラノ関ノアタリニ箱根州ト云フヲ出ス土人ノ曰元録ノ頃紅毛人江都参府ノ時此中ヲ見テ曰是レカツヘ子レスト云フテ難産ノ藥ニ妙アリトテ採ラセケル故ニ一名ヲオラシタ州ト云フコレ本草ニ載スル処ノ石長生ナルヨシ

先生按スルニ箱根草此頃参府ノ紅毛人ヤレハツキト云ヘル

標梅
ムコハヤ
ムコハヤナラシ
追而可考

醫ニ問シニ此草本國ニテ、フウニチリイリヨト云フ此國トムマ
ハヤト云ニヶ國ヨリ外ニナシ故ニ右兩國ニ來ル時採リ持行
ト云フ此草專ラ産前産後ノ諸病ニ黒焼トシテ白湯
ニテ用ユ又湯火傷或ハ髪ノ元タルニホルトカルノ油
ニテトキ付ルト云フ

重康曰相州底倉ノ湯場ノ山中ヨリ五味子ヲ出スナリ方言
五九ノ伊ト云フ即チ獻上ス

先生按スルニ和邦ニ産スルハサ子カツラノ實ナリ本州家ニ
云フ南五味子ナルハ藝州廣嶺ヨリ出ルヲ上トス日州
丹州ヨリ出ルヲ次トス

○豆州之部

重康曰豆州三浦三崎ノ山中ヨリ標木ヲ出ス土人コレヲ
カラス山椒ト云フ

先生按スルニ標ヲ和邦ニテヲ、チト訓スアヤマリナリ標ハ
椿ノ一類ニテ椿ヨリ枝曲折シテ生ス葉ニ惡シキ香アリ
畿内ニテキツ子ノチヤシ袋ト云フ

重康曰八丈島ヨリアシタ中ト云フ草ヲ出ス根葉トモニ食フ
是ヲ食ハ瘧瘡ヲカロクスト云一名八丈中又海峯人參ト云フ
先生按スルニ八丈島ハ伊豆ノ下田ヨリ百里ハカリ辰巳ノ方ニ
當レリ此嶋ニアシタ州ヲ專ラ作ル他所ニテ菹蘿蔔牛房

ヲ作ルカ如ク常ニ五穀ニ雜ヘ根トス根葉トモニ煮テサハシ
飯ニ入食フ菜類ニモ製ス正月ヨリ九月頃マテヲ旬トス
其味胡蘿蔔ノ如ク少シ塩氣アリト云フ此草ハ常ニ塩
風烈シキニハアシタ中ニカキラヌ他ノ菜モ少ク塩氣アリト
云フ葉形チ前胡ニ似マタニ葉芥ニモ似テニ極ニ葉ニシテ
面ハ深青ニシテ背ハ青白色ナリ其葉光滑ニシテ葉ノ
リ細鋸齒アリ莖ニ少赤キ所アリ葉莖ノ香有此州
四時凋ニス新葉舊葉相マシハル嫩葉ヲ取リ食ス味ヒ
甘ク淡ク佳ナリ此草日暮ニシテ蔭ク時ハ晨ニセ方ヲ生
故ニアシタ中ト云フ是煖國ノ產物ナルカ故此中子種
三年ヲ經テ細白花ヲ開ク形狀芥ノ如シハ丈島ノ此草
此草此草へ来リ初テ食フ人ハ殊ノ外氣ヲ上セ頭痛ナ
トスル五七日モ食ヒ割シテハ害ナシ故ニ嶋人モ此國ノ人參
ナリト云フ貝原氏ハ文献通考ニ載スル處ノ鹹草ヲア
タ中ナリト云然レトモ文献通考ニ葉邪蒿ニ似タリトア
ルニ合フ松岡氏ノ曰鹹中ハ救荒本草ニ出ス鹹蓬中ナル
ベシト又或説ニアシタ中ハ本中湿中ニ出ル都管中ナルニ
然レ氏本州蘓頌カ説ニ詳ニ的當セス

駿州之部

照任曰駿州富士山中ヨリ黄菖ヲ出ス二種アリ其葉甘キ

モノハ其根好カラズ其葉苦キモノハ其根甚ク宜シク味甘ク柔
ニシテ綿ノ如シ即チ獻上ス

先生按スルニ照任ノイヘル如ク柔ニシテ味甘キヲ用ユベシ甲州
其外北國所々ヨリ出ル綿黄蓍小黄蓍木黄蓍ノ三
種アリ京師比叡山加茂貴布祢ノ辺ニモ生ス又越前ヨ
リモ産ス葉ハ萩ニ似テ毛アリ花ハ紫藤ノ花ノ形ノ如クウ
ス青キ花サク實サゲニ似タリ羊齒葉ノ黄蓍別ニ江東
ニアリ真ノ黄蓍ハ稀ナリ多クハ木黄蓍ナリ撰ミモチユヘシ

重康曰駿州富士山ノ中官ニ石葦ヲ出ス

先生按スルニ石葦ハ和名ヒトツ葉ト云フ丹波伊豫カト云
リモ出ル葉白芨ノ葉ニ似テ厚ク一枚ツ、岩石ノ間ニ出ツ葉
ノ面ニ微黄ノ粉アリテ毛ノ如シ背ハ淺白色ニシテ白毛アルカ如シ

照任曰駿州久能山ヨリ烏臼木ヲ出ス

先生按スルニ西國所々ニ植ル筑前福岡尤モ多ク種ル和名
南蠻ハゼト云フ葉杏ノ葉ニ似テ赤キ實生ル取リテ蠟トス

重康曰駿州三穂ヨリ松露ヲ多ク出ス佗國ニ生ルヨリハ味殊
ノ外好ク香モ佳ナリ故ニ此所ノ名物ナリト云フ

先生按スルニ松露ヲ本中芝物類ニ出入交尊ニアウル説ア
リ未詳ナラス交尊ハヌノヒキト云フ尊ナルヘシ松露ハ重
氏カ琉球賦徐葆光ガ中山傳信録ニ松露ト出セリ凡

松露ハ純白ニシテ柔軟ナルヲ餅松露ト称シテ上品トス黄
黒色或ハ灰白色ナルハ毒アリ食ベカラス一種山松露ト云フ
物アリ土中ニ生ヌ形子常ノ松露ヨリ大キク黄褐色ナリ
食フベカラス

採藥便記卷之二

採藥便記卷之三

目錄

甲斐國

甘草

牡丹

遠志

エツコノシ

土甘草

信濃國

星石

越後國

石油

佐渡國

細辛

遠江國

蘭

尾張國

甘蔗

伊勢國

水銀

養老草

近江國

烏帽子石

拳參

山城國

松茸

大和國

蟾蜍

紅娘子

番椒

紀伊國

真甲鯨

大鰻鱺

釣藤

河内國

金剛鑽

和泉國

神馬草

丹波國

空青

播磨國

當藥

加賀國

アヤカニ魚

美作國

誕生木

伯耆國

熊膽

備中國

牽牛花

長門國

石炭

阿波國

白篇豆

伊豫國

苔桃

淡路國

艾

深山梅

薩摩國

マクリ

鬼ヘコ

肥州、長崎、唐物

松菜

採藥使記卷之三

黎春光生

副鑿

高大醇錄

○甲州之部

照任曰甲州石部ト云フ所ヨリ、甘州ヲ出ス又ヲソト云フ所ニモアリ、二種アリ、即チ献上ス

重康曰甲州石森村ヨリ、甘州ヲ出ス又折栗ト云フ所ニモアリ、土人ノ曰、昔ヨリアリテ、甲州ノ名物ナリト云ヘリ、

先生按スルニ、甘州、和邦ニ所々ヨリ出ルトイヘトモ、中華ノ佳ナルニ及ハス、甲州地方ニ出ル、本中ニ説ク所ノ、鯉魚腸ト云フ者ニチカシ、甲州ノ土人曰、今甘州ヲ多ク出

ス所ノ地ハ昔武田信玄ノ藥園跡ナルヨシ云傳ス
重康曰甲州御城中ニテ牡丹ヲ見シニ甚タ大キク木ノ高サ
一丈五尺ハカリモアリ。花ハ未タ見ストイヘトモ。色紅ニテ。年ニヨリ
百二三十輪モ花開クト云フ。誠ニ土地ニ應シタル故カ。願クハ此根
ヲ採リ。藥用ニセハ。其功アラシクナリ。

先生按スルニ牡丹ノ大木トナル事。所々ニアル也。摺州菟
原郡熊内村ト云所ニ高サ一丈餘ノ牡丹アリト。輿地通
志ニモ載タリ。又中華ニモコレアルニヤ。涌涌小品ニイハク
青城山ニ牡丹アリ。樹ノ高サ十丈六十年ニ一度宛花ヒ
ラク。永樂年中花咲シ時。蜀獻王使ヲ以テ見セシム。即
チ花ヲ取リ歸リシト。廣群芳譜ニモ引ケリ。

照任曰甲州郡内領ノ内ヨリ。遠志ヲ産ス。根ノ形子箸ノ如ク。
長サ八九寸。氣味甚タ佳ナリ。即チ献上ス。

先生按スルニ和邦ニ産スルニ種アリ。大葉小葉ノ二品。花
肆ニ。姫菡ト云フ者是ナリ。江州伊吹山ノ産佳ナリ。近世
離桔梗ヲ遠志ニ充ルハ非ナリ。

照任曰甲州郡内領ニ草アリ。方言ニエツコノシ。又シ。腫中ト
云。此物何物タルヲ知ラス。或曰本草ノ鹿蹄中ナリト云ヘリ。

先生按スルニ江都草深キ所ニテ。小兒ノ翫フ中ノ内ニイラ草
ノ形ニ似タル中アリ。小兒誤テ陰莖ニ近ツクレハ。乍チニ腫ル。

竹アリ是ナルヘシ漢名イマタ知ス

重康曰甲州栗林村ト云フ所ニ土甘草ト云フ物アリ多ク楮木ノ林中ニ生ス土人呼テクヌキト云フ其形チ石榴ニ似テ内黒ク其味ヒ甘シ甚タ珍物ナリ小兒殊ニ好テ食フ

先生按スルニ此物未タ見聞セ

信州之部

照任曰信州和田峠ト云フ所ニ星石ト云フ物アリ其色黒クシテ水具ノ如ク透キ其中ニ白キ星ノ形アリ

先生按スルニ是レ西國ニテ黒水具ト云フ石アリ此類ナルヘシ

越後之部

重康曰越後村上ノ黒川村ト云フ所ヨリ石油ヲ産ス泉ト雜リテ涌出ル土人トリテ燈トシ用ユ甚タ明也其臭キフ硫黄ノ氣アリ故ニ俗ニ臭水油ト云フ

先生按スルニ又信州佐州越前ニモアリ土人山油ト云フ本州ニ載スル所ノ石腦油ナルヘシ此泉ノ中ヨリ出テ水ノ上ニ泡ノ如ク浮フヲカクニ中ト云フ巖ニ似タル中ノ葉ニテ採リ挿ニ入挿ノ底ニ孔ヲ明ケテ水ヲヌクナリ土人等專ラ諸腫物ニ貼テ愈ルト云紅毛國ヨリ來ル土ノ油ト云フ一物ナリ云日本紀天智天皇七年越ノ國ヨリ燃土燃水ト云フ獻ストアリ燃水ト云フ此クサウツナルヘシ

○ 佐州之部

重康曰、佐州、秋田ヨリ、細辛ヲ出ス、上品ナリ、

先生按スルニ、此外、羽州、越後、越中ヨリ出ル細辛、何レモ上品ナリ、又奥州、阿州、豊前ノ産ハ、中品トス、何レモ真物ナリ、一説ニ、加茂ノ葵ヲ、真ノ細辛ナリト云フ、是モ細辛ノ種類ナルヘシ、俗土細辛、南部細辛ナリト云フテ、色々類草多シ、何レモ真ニ非ス、

○ 遠州之部

重康曰、遠州ニテ、蘭ヲ見シ、関東ナト、遠ヒ、圃ヲ作りテ種ル、甚ク丈高ク、三尺ニアリ、関東ニテハ、寒暑風雨ニ傷ム、故ニ、盆植ニセサレハ、タモチガタシ、

先生按スルニ、遠州ニカギラス、駿州、豫州ノ大州ノ若山ナト、何レモ圃ニ作ルト云フ、

○ 尾州之部

重康曰、尾州、大野ト云フ所ニテ、甘蔗ヲ植シテ見シ、其形千黍ノ如シ、故ニ和名ヲ、サタウキヒトモ、サタウ竹トモ云フ、製法クハシカラサル故カ、中華ヨリ来ルニ似スト云ヘリ、薩州ニテハ、公カシヨリツクレドモ、黒サトウニテ、白沙糖ハ出来カヌルト云フ、

先生按スルニ、或曰、和邦ニテ、所々ニテ作ルト云フナレトモ、製法ヲ傳ヘサルユヘ、中華ノ品ニ似ス、シカレトモ、近年、漳州ノ商

客ニ呂思明ト云フ者長崎へ来リ製法ヲ傳ヘケルヨシ
今ハ尾州ニテモ此製法ニテ作ル甚上品ノ沙糖ニナル土地
相應ニケルカ一坪ニ九株ツノ種ルニ冬ニ至テハ一坪十分ニ
繁茂ス一及ノ地ニハ黑沙糖三百斤程出来ルト云フ此
三百斤又白沙糖ニ製スルト七八十斤トナルヨシ

○勢州之部

重康曰勢州山田伊澤ノ砂中ヨリ水銀ヲ出ス砂石ヲユリ
テ採ル和邦ムカシヨリ水銀出ス所ニテト云ヘリ

先生拙スルニ和邦ニ水銀ヲ出ス事ハ延喜式等ニモ載
セガレハ珍シキ事ナリ伊澤ヨリ相ツキテ生セハ和邦イ
一貨物ナルヘシ中華ニモ水銀三種アリト見エタリ朱砂ヲ
焼テ取リ又馬齒莧ヲ焼テ取リ又砂石ノ中ヨリ取モ
アリ又怪シキ説モアリ廣西通志ニ曰泗州ト云フ所ニテ
水銀ヲ取ルニ他國ヨリ人ヲ買ヒ水銀アル地ニ首バカリ
出シ埋ミ三日計置テ其人甚タ癢カリテ號呼スル時
首ヲ截リ土ヲカケ埋ミ十日計過テ堀出セハ滿腹
腸胃骨髓ノ中迄盡ク水銀アリト云フ

照任曰勢州ノ方言ニ養老草ト云フ中アリ武州ニテ
是ヲ立葵ト云フ其形一莖ニシテ高サ一尺以來莖ノ上ニ
四葉或ハ三葉アリ葉ノ形チ細辛ノ如ク心ニ花ヲ開キ形チ

梅ノ花ノ如クニシテ白色ナリ。重康曰此花阿州燒山寺ノ山中ニ多ク生ル中ナリ。阿州ニテエレ中ト云フ小兒諸病ニ用ユ。專ラ驚風ニ効アリト云フ。

先生拙スルニ和州多武峯ニ多クアリト云フ。彼土ニテ惠連草ト云フ。立六七寸。一本ニ三ニシテ。抄ニ葉三葉長サ三寸計。玉簪花ノ葉ニ似テ尖カラス。三四月項上ニ小キ花ヲ開ク。淡紫色。實ヲ結フ中ニ細子アリ。決黑色。其根半夏ノ如シ。根ヲカケホシニシテ食腹ノ薬ニスト云フ。武州ニテ三葵ト云フ。中ハ初春ニ葉ヲ生シ五六寸バカリノ小竹ナリ。葉ノ形子。加茂ノ葵ニ似一莖ニ三葉ツク。出ルニ三月比。三出ノ花ヲ開ク。色白ク花ノ臺モ三枚アリテ。色青シ。根ハ芋ノ如ク。鬱金中ノ根ニ似タリ。

江州之部

重康曰江州三上山ニ鳥帽子石ト云フ。大石小石皆鳥帽子ノ形ニテ。或ハ白ク。或ハ黒ク。立エホシ。或ハ風折鳥帽子ノ形ナリ。

先生拙スルニ此類諸州ニ間々アリ。西国ニテ團子石。蛤石。トノ類ナルヘシ。

重康曰江州伊吹山ニ拳拳ヲ出ス。土人是ヲ伊吹虎ノ尾ト云フ。先生拙スルニ伊吹虎ノ尾ト云フ。中ヲ見シニ春苗ヲ生シ。其初生。赤色ニシテ。葉ノ形ギシ。ミノ如ク。五六月一莖ヲ拔出テ。直ニ

伸ル事尺余、莖ノ半ヨリ上ニ莖ニ貼テ、尖ニ葉生ス、稍頭ニ穂
ヲナシテ、花ヲ開ク形ナシ、莖中ノ如シ、根ハ子ニ似テ色黒シ、
俚俗葉ノ形ヲ以テ、山大黃ト云フ、卷ノ形ナシ、因テ又虎ノ尾ト云、

○城州之部

重康曰、京師ニ登ル時、稻荷山ヨリ採来レルトテ、人ノ松茸ヲ調シ
テ、饗サレケルカ、關東ニテ食ヒケルヨリ、格別氣味勝レタリ、兼テ
當國ハ松茸ノ名物ト聞シカトモ、カホトモテ、ヨロシカルヘキトハ思ハサ
リキ、殊ニ此山ノ茸ハ、年毎ニ貢ニモ供スルヨシ申侍レハ、一人雅興ナリ、
先生按スルニ、山州ノ松茸ハ古ヨリ名産ニテ、殊ニ松茸ハ、草中
ノ佳品ナルニ、許浚カ、東醫室鑑ニ曰、松茸、性平、味甘、久毒
ナク、木茸中ノ第一ト賞セリ、又李笠翁カ、閒情偶寄ニ曰、
夫レ草ハ根ナク、蒂ナク、忽然トシテ生ス、蓋山川中木ノ氣
結テ形ヲナス、甚タ人ニ益アリ云ヘリ、

○和州之部

重康曰、和州大瀧山ノ内ニ蟾蜍アリ、其大サ六尺余アリ、常
ニ山中ノ蚯蚓ヲ捕リ食フト云、背ノ上ニ人三人ヲ乗スト云、
先生按スルニ、斯ノ如キ、大キナルカヘル未見トイヘトモ、異國
ニモアルニヤ、孟照カ、龍雪録ニ曰、陸國賓ト云フ人、曉ニ舟
ニ乗リテ出ケルニ、乍チ白キ虹ヲ見ニ、箬笠ノ大キナル蟾
蜍、口ヨリ右ノ虹ヲ吐キ出セルナリ、即チ跳テ水ニ入シト也、

又陸游カ避暑漫抄ニ曰ク河北ニ大蟾蜍アリ其大ナリ半輪ノ如シ

重康曰和州下市ノ山中ニ紅娘子多シアセボノ木ニ群ヲナシテ集ル

先生按スルニ紅娘子ハ本名樗雞トテウチヌメト云虫也毒アリ目ニ迫ツクヘカラス

重康曰和州宇田郡松山町森藤助ト云フ人ノ圃ニ番椒アリ其形子常ノトウカラシノ如クニシテウチヌメ長ク其味甚タ其シ少シモ辛キ味ナシ

先生按スルニ其種子ノ性ニヨリ如此類アルヘシ胡椒ニモ和邦ニテウチルニ本ヤノ説ニヨク合ヘトモ少シモ辛キニナキモノアリ此類ナルヘシ

紀州之部

重康曰紀州熊野浦ノ渚人真甲鯨ノ頭ノ肉ヨリ脂ヲ取り則腦中ノ白脂ナリ是異国ヨリ籠涎香ト名ツケテ渡ス和俗鯨ノ糞ト云フハ誤也則献上ス

先生按スルニ今中華ヨリ來ル籠涎香ト云フ物ハ食國ニ籠涎燠ト云所ヨリ春ノ比群籠交リ戯ムレテ涎沫ヲ水上ニ遺スヲ土人船ニ乘行テ採ルヨシ范泓カ典籍使覽ニ載セタリ此説モ疑ラクハ虚語ナラシ是レ今和邦

ニテ採ル所ノ鯨ノ腦味噌ト海俗ノ云フ物是ナルヘシ今
華人持来レル文字香又琉球ニテ製スル所ノ壽帶香
ト云フ線香アリ此線香ハ常ノ線香トナカヒ炷テモ白
灰ノ落ルヲナク上ヨリ下ニテ灰結ホレテ篋ノ形ノ如シ故ニ
文字香ト名ツク此香ハ龍涎香ヲ合セ製スル故ニ刺ノ如
シト華人ノ説ナリ今和邦ニテモ鯨ノ腦味噌ヲ線香ニ
調合シテ炷キ試ルニ華土ヨリ来ル文字香ニカハルナリ
故ニ和俗ニヤノ字線香ト云フ白灰ノ結ホレテ形ナ平カナ
ヤノ字ニ少シ似メリ是ヲ以テ見テ龍涎ハ鯨ノ腦味噌ナルヘシ
重康曰紀州奥熊野宇留村ノ流レヨリ大鰻鱺ヲ出ス其
長サ一丈余圍リ三尺計リ有リト云フ

先生按スルニ関東ニハ鰻鱺ニ大キナルハ未見其所ノ地勢
ニヨリ斯ノ如ク大キナルモ有ヘシ東国ニモ章魚烏賊魚
ニハ一丈計リナル時々澳人ノ捕ル事モアリ

重康曰紀州熊野山中ニ釣藤アリ其葉形ナ櫻ノ葉ノ如
クニシテ長ク廣クシテ蔓生ス刺アリテ釣ノ形ノ如シ

先生按スルニ此物所々ニアリ豊州中津ニ出ルヲ上品トス
藝州廣嶋ノ産ハ次ナリ俚俗藤ワリノハリト云フ

○河州之部

重康曰河州石川郡ニ上ノ嶽ヨリ金剛鑽ヲ出ス又志紀郡

沼村ト云フ所ヨリ、南瓜ヲ出ス、何レモ此州ノ名産ナリ。

先生按スルニ、金剛鑽、和州、葛下郡、逢坂村ヨリモ出ル、天
平五年九月、逢坂ノ沙ヲ以テ、玉石ヲ治スト云フモ、即チユ
レナリ、南瓜ハ、中古專ラ用ヒタル物ナルヘシ、永亨寛正日
録ニ曰、慈照院相國、南瓜ヲ諸祖廟ニ薦ムトアリ。

○泉州之部

重康曰、泉州、大鳥郡、下石津村ヨリ、神馬中ヲ多ク出ス、
一名總俵ト云フ、春盤ノ用トス。

先生按スルニ、是レ年始ニ用ユル物是ナリ、俗誤テ、ホシハラ
ト云フ、益部万物畧記ニ曰ク、真珠菜ハ、戎瀘等ノ州
ニコレアリ、水中ノ石ノ上ニ生ス、翠縷織蔓ニシテ、貫珠ノ如シ、
蜀人蜜ヲ以テ熬シテ食ス、又ハ瀹テ蔬トシテ食フト云ヘリ、
是和邦ニ云フ、總タハラナルヘシ。

○丹州之部

照任曰、丹州、多田ノ山ヨリ、空青ヲ出ス、或ハ曰、長州ヨリ、紺青ヲ
出ス、未其真ヲ見ス。

先生按スルニ、和邦、所々金山ノ中ヨリ、空青ヲ出ストイヘトモ、
上品ハ稀ナリ、俗ニ花紺青ト云フ、別種ニテ、番國ノ産物ナリ。

○播州之部

重康曰、播州、三木郡ニ、當葉ヲ多ク出ス、苗ノ高サ五六寸莖

細クシテ、澁紫色、葉ハ帚巾ノ葉ニ似テ、小ク色黄ナリ、又、蒼ナキ
モノ有、根細長ク、黄色ナリ、

先生描スルニ、此中、東国、所々ニ産ス、一名、千振中トモ云フ、稻
若水、是ヲ胡黄連トス、中華ヨリ来ル、味ヒ苦ニ、和産ハ
味ヒ烈シキ故ニ、別種ナリト云フ人アレシ、其實ハ同種ナルヨシ、
松岡氏モ云ヘリ、東国ニ産スルハ、白花ノモノ多シ、或曰、此當葉
ハ、本中、彙言ニ載スル所ノ、石龍膽ノ種類ナルヘシ、和邦ノ
虫藥等ニハ用ヘシ、小兒ノ方ニハ、華土ヨリ来ルヲ用ユヘト云フ、

加州之部

重康曰、加州、越州之海中ニアヤカシト云フ魚アリ、其形子鱖ニ似
テ、小キハ一尺ハカリ、大キナルハ一丈計モアリ、全身鱗ナシ、頭ノ上ニ圓
ク高キ所アリテ、段々ノキザアリ、小判ノキザノ如シ、故ニ一名小判魚
ト云フ、其魚多ク集リテ、彼キザノ所ヲ、船ニ吸ツケテ、船ヲトムル
事アリト云フ、

先生描スルニ、此魚、東國ニテイマダ見ス、江都ニテ、稀ニ小判魚
ト云フ魚ヲ、捕リ得ル事アリ、形状大抵相似タリ、アヤカシト
同物カ、或曰、利瑪竇カ、押粵圖ニ載スル所ノ、咽機哆ナルト云ヘリ、

加州之部

重康曰、作州、久米郡、稻岡村ト云フ所ニ、誕生木トテ、大木ノ椽ノ
樹アリ、是所源空上人ノ誕生ノ地ナリ、彼宗徒、多ク念珠ニ作ル、

木甚々堅ク佳ナリト云ヘリ

先生按スルニムクノ木葉ハ楸ノ葉ニ似テ薄皮ヲ去リ名形ノ如シ小兒好テ食フ本中ニ葉柄ニ似タリト云フニ合ス此葉ヲ採リ骨角ノ細工ニ專ラ用ユ閩中記ニ曰加條木其葉ヲ用テ犀角象牙ヲ摩クヘシト是ムクノ木ト同物ナルヘシ

○伯州之部

照任曰伯州ヨリ熊膽ヲ出ス土人曰當國ノ熊膽ハ和邦第一ノ上品ナリト云フ今試ムルニ佗州ヨリ出ル物ヨリ功甚々スグレリ

先生按スルニ熊膽諸国ヨリ出ルトイヘ氏伯州ノ産殊ニ佳ナリ伯州ノ三杭ト云フ山ヨリ多ク出ル此所ノ膽ハ東國ノ如ク掛目多クハナシ膽一ツニテ七八文目位ヨリ十五文目位ニテ有其内ニモ上中下色々アリ上品ヲ土人金膽ト云フ是ヲ京師ニテハ琥珀手ト云フ次ノヲ漆手ト云フ此ニ口大抵上品トス

○備州之部

照任曰備州ノ松山ト云フ所ニ此頃珍シキ牽牛花ヲ生セリ花葉ノ形ハ古来ヨリアリ来ルニ同シクシテ丈長カラス三四尺位ヲ限トス花ノ色白ト紺ト咲分ケ或白地ニ紺ノ細カナル星入り又紺ニ白キ細キ筋入モアリ其年ノ子ニテ又生シ花咲ク近比京師松山アサガホト云フ

先生按スルニ陳技搗カ花鏡ニ曰牽牛花ニ異種アリ一本ナ

上ニ二色ノ花ヲ開ク俗ニ是レヲ黑白江南花ト云、此種ニテ

○長洲之部

重康曰、長洲、舟木村ト云フ所ヨリ、石炭ト云フ物ヲ出ス、又カラ
ス石トモ云フ、土人山ヲ堀テ、是ヲ取り、薪ニ代ヘ用ユ、其氣甚臭シ

先生按スルニ、是本中ニ載スル所ノ石炭ナルヘシ、又筑前黒崎

村ヨリモ出ル、又伊賀、藏持ト云フ所ニモ有、俗ニ是ヲ乾漆ニ

偽リ用ユ、毒アリ、撰ニ用ユヘカラス、其色黒クシテ、漆ノ乾キタル

ニ似タリ、老學菴筆記ニ曰、豫章郡ヨリ、石ヲ出ス、燃テ

薪トスヘシト云ヘルモ、是ナリ、伊賀ノ土人ハ是ヲウヒト云フ、上

ウヒ、ハタウヒトテ二種アリ、史記考異ニ曰ク、福州山ニ

炭ヲ出ス音昔、其形、炭ニ似タリ、形モ文字モ似タル故ニ炭ヲ

モ炭ノ字ニ誤レリ、豫讓カ吞ミテ、啞トナリシモ、此炭ニアラス

ト云ヘリ、

○阿州之部

重康曰、阿州、鎌田村ト云フ所ニ、東條勳左衛門ト云フ人ノ地ニ

年々白篇豆ヲ多ク種ル圃アリ、毎年夏秋ノ内、長サ一尺分

リノ小蛇アリ、白篇豆ノ蔓ニ登リ、天上スト云フ、其蛇ノ形、常

ノ山方口チノ如ク、頭ニ白キ綿ノ如キ物少シアリ、其内ニモ綿ノ如

キモノナキ蛇ハ、莖ノ梢ヨリ落テ上天スルヲアタハス、

先生按スルニ、東國ニモ是ニ似タルヲマ、アリ、五六月、夕立雨

アラコト思フ比ハ諸州木へ小蛇ノ幾度モ上リ下リスル事者
サダカニ天上スルヲ見スト雖モ俚俗ニ是ヲ蛇ノ天上シテ龍
ニナルト云ヘリ

○豫州之部

照任曰伊豫ノ松山ノ内ニ熊山ト云フ所アリ其山ニ苔桃ト云フ
物アリ木ノ高サ一尺ハカリ枝ナク葉ノ先キ丸ク葉花モ大抵
桃ニ似タリ實ソ大豆ノ如ク形ハツバイ桃ニ似タリ光モ有
又一種國同ノ濱ト云フ所ニ桃アリ海濱ノ砂中ニ生ス木高サ
一二尺ハカリ花葉トモニ常ノ桃ノ如ク羨ナリ花ノ時土人見物ニ出ル
先生按スルニ熊山ニ生スル東國ニテ云フ所ノ庭梅ノ類ナル

へ國ノ濱ニ生ル桃ハ華土ニ云フ壽星桃ナルヘシ

○淡州之部

照任曰淡路島ニ種ノ艾ヲ生ス此艾ヲ以テ陶器ニ灸スルニ作テ
其穴ヲ穿ツ其穴氣ノ強ケレナリ是真ノ藺艾ナルヘシ

先生按スルニ或曰松岡氏ハ伊吹山ノ艾ヲ藺艾ニ充ツルハ非也
世人專テ伊吹山ノ艾ヲ用ユルハ灸火ノ氣烈シカラス故ニ是ヲ
好ム況ヤ採過シタル彌性弱シ用ユカラスト云ヘリ

照任曰藍部屋村ト云所ニ藥種屋藤兵衛ト云フ者ノ庭ニ色
色藥中木ヲ植シ中ニ深山檜ヲ栽ヘケル故ニ何ニ用ヒケル問ヒ
侍レハ此木ノ葉ヲトリ陰乾シテ疝氣腰脚ノ痛ヲ治スルニ

其中十分一加煎服ス甚妙アリト云フ其葉ノ氣味苦シ微辛シト
先生拙スルニ深山檜ト云フ木東国ニモ所々ニ是アリ葉ハ
常ノシキニ似テ、勅ハス其香沈丁花ノ香ニ似タリ四月比
細白花ヲ開キ秋子ヲ結フ大サ南天ノ實ヨリ少シ大キ
ク色赤シ或曰是本中毒竹類ニ載スル所ノ茵蔯ナリト云リ

○薩州之部

照任曰薩州ヨリヤウリト云フ海中ヲ出ス琉球ノ近辺ニ多ク生スト
云フ長サ一二寸岐アリ根鬚モナク黃色ニシテ少シ黒ミアリ微毛
アリテ輕虚ナリ味微シ鹹ク甘シ小兒初生三日ノ内先ツ此ヲ
リト其中ニ味ヲ昂ニ包ニ湯ニ浸シテ吞シム一方ニ右ニ味ニ數冬

ノ根ヲ加フル方モアリ

先生拙スルニマウリ甘中ヲ初生ニ用ユル事何ノ時ヨリ始ル事
ヲ知ラス和邦通俗必用ノ藥ナリ漳州府志ニ曰鷓鴣菜ハ
海石ノ子ニ生テ散碎色ニシテ微シ黒ク小兒ノ腹中奥アルニ
食ハ下ルト云ヘリコレ和邦ノマウリナルヘシ

照任曰薩州ノ西ノ島ニ定ト云フ所又ヤクノ嶋ト云フ所ヨリ鬼
ヘゴト云木ヲ出ス其木蕨鉄ノ類ニテ高サ六七尺周リ三四尺葉
ハ齒朶ニ似タリ其木ノ膚絲此ノ如ク又蕨繩ニテ織タルニ似
タリ此木粉トシテ諸腫ノ廻リニ貼ルトキハ外へ出ル事ナシ是
官仲ノ類ナルヘシ

先生按スルニ薩州ノ方言ニ齒及菜ヲヘゴト云フ葉ヘヨニ似テ
タクマニキ故ニ鬼ヘゴト云又蛇木トモ云フ

○肥州長崎

重康曰此比長崎へ南京ノ僧ノ持來レルヨシニテ松菜ト云フ
物ヲ見タリ苗ノ高サ五六寸蔓中ノ如ク地ニ延テ生ス葉ハ雌松ノ
葉ニ似タリ醋ヲカケ食ヒ又ハ羹ノ中ヘモ入レテ食フ味ヒ甘ク淡
ク脆クシテ養サリ秋ニ至テ五辨ノ小黄花ヲヒラク子ヲ結ブ雞
冠子ノ如クニシテ黒色ナリ子ヲトリテ春地ヘ種ルヨク生スト云ヘリ

先生按スルニ或曰コレ本草葷辛類ニ載スル所ノ邪蒿ナル
ヘシト云ヘリ此中東國所々ニ有テ多ク海濱ノ地ニ自然ト

生シ一名濱松ト云フ疑ラクハ救荒本草中ニ載スル所ノ鹽蓬
ナルヘシ此草少シ鹹味アリ

採藥

